

「ヒト死後脳を用いた光学イメージング技術の開発」に関する情報公開

東京都健康長寿医療センターでは、当センター高齢者ブレインバンクに登録された方を対象に下記の共同研究を実施します。

本研究への協力を望まれない場合、あるいは研究の詳細についてお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ担当者までご連絡ください。

●研究の名称

ヒト死後脳を用いた光学イメージング技術の開発

●研究責任者

東京都健康長寿医療センター 神経病理／高齢者ブレインバンク 齊藤祐子

●研究の対象

包括的研究同意の下に東京都健康長寿医療センター高齢者ブレインバンクに登録された方のうち、神経病理学的解析により、アルツハイマー病、あるいはパーキンソン病（レビー小体病を含む）と診断された症例、および、その対照となる症例。

●研究の期間

倫理委員会承認後から 2025 年 3 月まで

●研究の目的と概要

脳疾患の病態解明のために、アルツハイマー病におけるアミロイド斑やタウ病変を呈する組織の包括的な画像解析、および、パーキンソン病のアルファ・シヌクレインの分子修飾の解析を行います。この目的を達成するために、多数の化合物のスクリーニングや技術開発などを行い、より実用的なイメージング技術を開発し確立します。

●研究の方法

東京都健康長寿医療センターより理化学研究所に脳試料を提供し、理化学研究所において、組織透明化、組織染色および光学観察を行い、ヒト組織に適合した技術の開発と実践を行います。蛍光標識をメインとし、富士フィルム株式会社から提供される化合物の光学的特性を利用し、得られた画像情報の解析を行います。

●研究に使用する試料・情報

アルツハイマー病やパーキンソン病などの脳神経系疾患の脳と皮膚（固定または凍結ブロック、パラフィン切片）

上記の症例に付随する病理情報、臨床情報

●研究組織

東京都健康長寿医療センター 神経病理／高齢者ブレインバンク	齊藤祐子
東京都健康長寿医療センター 神経病理／高齢者ブレインバンク	村山繁雄
理化学研究所 CBS	宮脇敦史
富士フィルム株式会社	渡辺康介

●お問い合わせへの対応

本研究に関するご質問や資料閲覧のご希望は、下記の問い合わせ先にご連絡下さい。

研究計画書や研究方法に関する資料については、ご遺族の希望に応じて、他の研究対象者や研究者に不利益が及ばない範囲内で、ご覧になることができます。また、研究への協力撤回を表明された場合は、速やかに研究での利用を停止いたします。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることはありません。しかしながら、すでに研究に使用されていた場合には、結果の削除など十分なお対応ができない場合がありますことをご了承ください。

●問い合わせ先

〒173-0015 東京都板橋区栄町 35 番 2 号

東京都健康長寿医療センター

高齢者ブレインバンク/神経病理 齊藤祐子（研究責任者）

電話 03-3964-3241 内線 4419（平日 9:00~17:00）